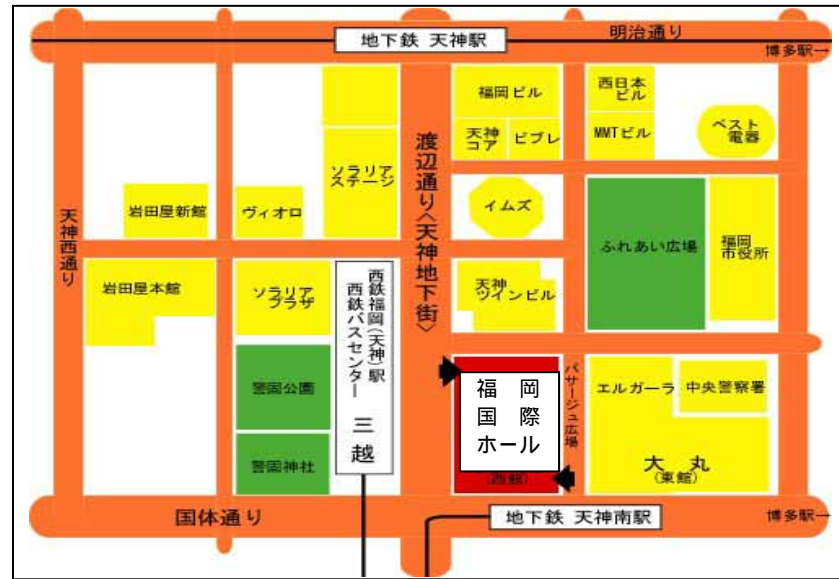


## 会場案内

福岡国際ホール（西日本新聞会館16階 大丸西館）



福岡空港…  
地下鉄利用で約20分  
JR博多駅…  
地下鉄利用で約10分  
地下鉄天神駅…  
徒歩約3分  
地下鉄天神南駅…  
徒歩約0分  
西鉄福岡(天神)駅…  
徒歩1分  
西鉄バスセンター…  
徒歩1分

## おねがい

パンフレット原稿のお願い

- \* 各県の活動報告 A4 2ページ
  - \* 内容 これまでの活動 課題と対策 ほか
- 締め切り 7月31日(金)  
(写真と文章の郵送もしくはe-mail(データ)で)

## 参加費

参加費(資料代) 1,000円  
(参加費の払い戻しはできません)

## 参加申込および納入について

- (1) 申込み期限 7月27日(月)
- (2) 申込み方法 別紙「参加申込書」に各県とりまとめて、ご記入いただき、下記事務局までFAX、郵送ください。  
\* 各県毎に4つの分科会に均等に参加できるように調整をお願いいたします。
- (3) 参加費用の振込みは以下の通りです。

お問合せ下さい

事務局：福岡県生活学校・生活会議運動推進協議会  
住所：〒810 0022 福岡市中央区薬院3丁目11番33号 薬院Eビル205号  
特定非営利活動法人 はかた夢松原の会 (内)  
TEL 092 523 2051 FAX 092 523 2066  
e-mail [yumematu@heart.ocn.ne.jp](mailto:yumematu@heart.ocn.ne.jp)

## 第31回 あしたの日本を創る運動九州地区研究福岡大会

# 開催要項

## 開催趣旨

昭和31年から新生活運動が始まり昭和57年あしたの日本を創る運動と時代に応じて再編されていきました。いま、世の中は100年に一度という不景気の波に洗われ、大変な状況です。こういう時こそ運動の原点が問われる時代だと思います。

わたくしたちは、過去から常に時代を先取りする運動に取り組み、調査研究・対話集会という地道な活動を続けてまいりました。しかし、この激変の時代に遭遇し、運動もメンバーの高齢化、課題の多様化、組織の改変、予算の削減等々新しい時代に合った解決を急ぐ課題も見えてきました。

「わたくしたちの暮らし、これからどうする」をテーマに九州各県から集い研究大会を開催いたします。

## 大会テーマ

「わたくしたちの暮らし、これからどうする」

## 主催

(財) あしたの日本を創る協会  
あしたの日本を創る運動九州地区連絡協議会  
福岡県生活学校・生活会議運動推進協議会  
全国生活学校連絡協議会

## 共催

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会

## 後援

福岡県 福岡県教育委員会  
福岡市 西日本新聞社

## 期日

平成21年 9月 3日(木)  
13:00 ~ 17:30

## 会場

福岡国際ホール 西日本新聞会館16階  
福岡県福岡市中央区天神1-4-1  
(092-712-8855)

## 参加者

九州各県の新生活運動関係者、新生活運動等を主管する行政関係者、まちづくり推進運動関係者等(300名程度)

## 目 程

9月3日(木)		
時 間	行 事 名	内 容
11:00	打ち合わせ	各県関係者および講師・助言者 大会運営打合せ
12:45	水あわせの儀	開催県関係者 「こころをひとつに水あわせ」
13:00	開会あいさつ 来賓あいさつ	福岡県知事、福岡市長
13:15	基 調 講 演	
14:00	活 動 報 告	各県代表者より 沖縄県 鹿児島県 宮崎県 熊本県 佐賀県 長崎県 大分県 福岡県
14:45	分科会説明	各分科会のテーマ等について説明
	移動・休憩	各分科会会場へ
15:20	分科会	第1分科会(14階 会議室) 第2分科会(14階 会議室) 第3分科会(16階 全体会 会場) 第4分科会(16階 九重の間)
	移動	全体会会場へ
16:30	分科会発表 講評とまとめ	4つの分科会での討議内容の発表 助言者による講評、全体討議 まとめ
17:30	閉 会	

## 基調講演

演 題 水と森林 ～楠の木は残った～  
講 師 矢幡 久 九州大学名誉教授

## 分科会

### 4つの分科会テーマ

#### 第1分科会 テーマ「朝ごはんをたべますか？」

助言者 佐藤 弘 西日本新聞社 編集委員

ねらい 何をどう食べるかは、個人の自由です。別に国家が規制することではないでしょう。しかし、その行為は、農・暮らし・健康・家族・流通・加工・教育など、あらゆる社会のありようと密接に結びついています。例えば、日本の年間医療費は33兆円。国家予算の10%にあたるレベルにまで達しました。ここまではいずれ、年金制度の崩壊は必至です。本分科会では、参加者の皆さんと「なぜ今、食なのか」という問題意識を共有したのち、皆さんと意見交換を行って、「では、私たちは今後、どうすべきか」を話し合えたら、と思います。

#### 第2分科会 テーマ「20アンペア - で暮らすには？」

助言者 泉 ルミ 照明デザイナー・イルミデザイン代表

ねらい 家庭で使用する電力消費量は、家電製品の普及に伴って年々増加している。明かりをつけることを「電気をつける」というように、電気の象徴とも言える日本の照明は、ますます明るくなっています。その照明による電力消費量の割合は、全体の約16%を占めます。しかし、地球温暖化防止のためには、私たちのライフスタイルを見直すことが必要になってきています。そのためにはまず、照明に対する知識を学ぶことが重要です。少ないエネルギーで、快適に暮らすための知恵や工夫を考えます。

#### 第3分科会 テーマ「水はどこからくるの？」

助言者 神野 健二 九州大学工学研究院環境システム科学センター教授

ねらい 福岡都市圏は、一級河川の大きな流域を持つ河川がなく、水資源に乏しい地域です。「安定して水を確保する事」が大きな行政課題となっています。この為「海水淡水化センター」を設立、2005年6月から1日5万トンの淡水化された水を30%給水開始。日頃から「水」への関心を持つこと、いざというときに協力できる環境の醸成が必要です。

#### 第4分科会 テーマ「聞く耳を持つ、そして伝えていく？」

助言者 金森 房子 (財)あしたの日本を創る協会 副会長

ねらい 生活学校は長い時間・空間の中で如何なる時代であっても、常に人と人を繋ぎ、生活や環境を中心にすえた運動を起こして、責任をもって改善を推進してきました。私たちの調査研究し体験し積み重ねてきた活動実績が評価され、明日の日本をつくるための重要な基盤の一つとなっています。世界中が混沌とした時代だからこそ、私たちの築き上げてきたこの財産を次世代と共に活動しながら明日へと受け繋いでいくことが重要なのです。私たちの先達が日本の歴史と文化そして自然を大切に守ってきた「こころ」の繋がりを絶やさないように。